

グローバル・コミュニケーション学部 総合型選抜【口頭試問方式】12月期課題

◆ **準備について**

「2024 年度総合型選抜エントリーシート グローバル・コミュニケーション学部口頭試問方式用」No.2（2 枚目）に、以下を記入してください。

- ① 選んだ課題の番号（例：課題 A）
- ② 課題の回答

※図や絵を記入しても構いません。

※Word や PowerPoint などで作成し（A4 サイズ 1 枚）、No.2 の代わりに提出しても構いません。

エントリーシート No.2（もしくはエントリーシートの代わりに作成した資料）は、試験当日、回答の際に使用することができます。提出前に必ずコピーを取って手元に残し、試験当日に持参してください。

エントリーシートや、自身で作成した資料を用いながら、口頭で問題に対する回答を行なってください。

◆ 設問：グローバル・コミュニケーション学科／英語コミュニケーション学科 共通

志望学科に出題されている以下の課題から 1 つを選択し、試験当日 7 分程度で回答してください。

—【グローバル・コミュニケーション学科】—

課題 A

2020 年以降の「グローバル」な社会の動きの中から自身の関心のあるものを説明してください。

続いて、「グローバル」な社会の動きに対して、自身がどのようなアクションを取るべきであるか、また、そのアクションが社会に対してどのような影響を与えると考えるかを説明してください。

課題 B

国連の加盟国数は 2023 年 7 月時点で 193 です。それらを 2022 年の人口順に並べ、公用語・主要言語を付記すると以下のようになります。

この情報をもとに、自分が行きたい国・地域と学びたい言語を選んでください。それらを選んだ理由や目的、学んだのちに将来どのようなことに役立っていきたいか、これまでの経験を踏まえながら説明してください。

順位	国名（通称）	人口（億）	地域	公用語・主要言語
1 位	中国	14.3	アジア	中国語
2 位	インド	14.1	アジア	ヒンディー語
3 位	米国	3.4	北米	英語
4 位	インドネシア	2.8	アジア	インドネシア語
5 位	パキスタン	2.6	アジア	ウルドゥー語、英語
6 位	ナイジェリア	2.18	アフリカ	英語、各民族語
7 位	ブラジル	2.15	ラテンアメリカ	ポルトガル語
8 位	バングラデシュ	1.7	アジア	ベンガル語
9 位	ロシア	1.4	欧州	ロシア語
10 位	メキシコ	1.3	ラテンアメリカ	スペイン語
11 位	日本	1.24	アジア	日本語
12 位	エチオピア	1.23	アフリカ	アムハラ語、オロモ語、英語
13 位	フィリピン	1.15	アジア	フィリピン語、英語
14 位	エジプト	1.10	中東	アラビア語
15 位	コンゴ民主共和国	1.0	アフリカ	フランス語、スワヒリ語
21 位	英国	0.68	欧州	英語、ウェールズ語、ゲール語
23 位	フランス	0.65	欧州	フランス語
29 位	韓国	0.52	アジア	韓国語
30 位	スペイン	0.48	欧州	スペイン語、バスク語、カタルーニャ語、ガリシア語、バレンシア語、アラン語

出典：グローバルノート「世界の人口 国別ランキング・推移（国連）」2023 年 5 月 2 日
<https://www.globalnote.jp/post-1555.html>
 （人口データは <https://www.un.org/development/desa/pd/>）；外務省「国・地域」
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/>

—【英語コミュニケーション学科】—

課題 A

2020 年以降の「グローバル」な社会の動きの中から自身の関心のあるものを説明してください。

続いて、「グローバル」な社会の動きに対して、自身がどのようなアクションを取るべきであるか、また、そのアクションが社会に対してどのような影響を与えると考えるかを説明してください。

課題 B

もし、ネイティブスピーカーのように英語が聞き取れて、話せて、読めて、書けるようになったとしたら、あなたはそのコミュニケーション能力を使って何をしますか。また、それはなぜですか？理由とともに説明してください。